



「肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法」～埼玉医科大・柿沼氏

埼玉医科大附属病院（埼玉県毛呂山町）消化器内科・肝臓内科医局の柿沼徹医師は、「患者は間違いなく増えると考えている。埼玉医科大病院では、経験

のある医師が待機しているので、急な患者増加にも対応できるだろう」と話した。

柿沼氏は、保険導入によって同治療法が広がることに期

待する半面、経験のない医師による治療が思わぬ合併症につながることを懸念している。血管造影、CT設備、入院施設、超音波検査の経験が豊富な医師が必要だという。

医療機器についての問題は、3種類ある針のうち1種類しか保険適用にならなかった点。高価な針の価格を差し引くと、1万3600点のうちわずかな収入にしかならないため、メーカーの価格面での配慮を期待している。